

1.件名	3.2 アジア地域
2.事業名	3.2.3 クリーナープロダクション技術普及促進調査 2004(H16)
3.キーワード	クリーナープロダクション、タイ、ベトナム、アンケート、ヒアリング
4.目的	<p>クリーナープロダクション(CP)は工場のエンドオブパイプ(EOP)での負の投資による環境対策だけに頼らず、生産工程を改善して省資源、省エネルギーを図り、環境への負荷を低減することにより環境保全と収益向上の両立を目指すものである。</p> <p>本調査では、開発途上国の工場の環境対策、生産技術、設備の近代化を効率的に推進することを目的に、CP普及にかかわる実状を調査し、今後の普及のための課題と方策を検討した。調査内容としては、文献・資料による過去の技術援助と途上国の状況の調査と、タイとベトナムの政府機関、企業に対するアンケートとヒアリングによる現地調査を行った。</p> <p>調査の結果、両国とも政府機関によるCP普及の努力はなされており、企業はCPの概念と有効性は十分に理解している。タイでは企業の競争力強化が課題となっているが実施に必要な改善手法を持たないため、工程改善が思うようには進んでいない。ベトナムは旧式設備の工場が多く、環境対策が始まったばかりで、環境対策にCP技術を使うことを望んでいるが、資金不足が深刻で設備改善はできない状況にあることが明らかになった。</p> <p>CP普及を効果的に行うには、CPに関する概念の普及、意識の向上を図り、対象国の実状に合った実効の上がる実践技術の移転が必要である。具体的には、生産工程まで踏み込んだ水使用合理化と省エネルギー化の技術移転が必要となるものと思われる。</p>
5.参照	補助：(財)機械振興協会